

発行 宮崎県立高鍋高等学校 同窓会
宮崎県児湯郡高鍋町 大字北高鍋4262
TEL 0983・23・0005
FAX 0983・23・5096

「為せば成る！高鍋」

高鍋高校同窓会会長 岩岡保宏



鳴海ヶ丘会会員の皆様には、ますますご健勝で活躍のこととお喜び申し上げます。また日頃より、母校並びに同窓会の発展の為に、絶大なご協力、ご支援を頂き、厚くお礼申し上げます。

記憶に新しいところですが、第十九回全国高等学校ラグビーフットボール大会では、高鍋高等学校ラグビー部の素晴らしい活躍がありました。戦前、「今年の高鍋は体も小さくたいした事はない」という風評の中で成績でした。

選手諸君は頑張りました。花園を目指し、猛練習を重ね、日頃からあらゆる面で弛まない努力をした賜物だと思えます。

花園では、個々の選手が持てる力を十二分に発揮し、組織力を生かし、闘志を全面に出した素晴らしい試合でした。スタンドでは、「高鍋高校同窓会、関西支部」と記された旗が先頭に入场、多くの同窓生が身を乗り出し、大声での応援を頂き、ありがとうございました。

平成二十一年度の同窓会が主催する「OB祭」は、昭和六十一年卒業「岡田祐二実行委員長」の皆さんが担当してくれました。「感謝」をテーマに、特別記念対談が、前ヤクルト・スワローズ監督古田敦也氏、高鍋高校OB・野球評論家池田親興氏（中央公民館）で行われました。今回は、郡内のスポーツ少年団と中学生を対象に野球教室も行われ、野球一色という感じでした。講師は、池田親興氏、若菜嘉晴氏、藤本博史氏の元プロ野球選手の三名でした。子供たちは、分かり易い説



岐阜工業との試合

明にうなずき、一生懸命プレーをしていました。早朝から担当して頂いた、実行委員の皆さん、ご苦勞様でした。平成二十二年度の「OB祭」は、昭和六十二年卒業松田光生実行委員長IIの皆さんが担当してくれました。現在は恐らく綿密なスケジュールが協議されていると思われ、内容が表面化するのは、五月に行われる、同窓会の理事会で発表があります。楽しみに待っているところです。

昨年七連覇を絶たれ絶望の淵からスタートしたこのチームのテーマは「克己」でした。その後も新人戦、高校総体と決勝にすら進めず、先の見えない戦いが続いていた。そんな苦しいときこそ藤兼三三将以下十七人の三年生を中心にチームがしっかりとまり乗り越えてきました。敵に勝つ前にはまず自分の弱さを打ち勝つからだと常に言い続け、ラグビー以外の場面でも自ら苦学することに取り組むようになってきました。地獄の夏合宿、日々の苦しい練習を経て彼らはやってきたことは間違っていないと強い信念を持ってようになった結果が十一月全国大会予選決勝でした。

厳しいながらも勝利をつかみ取り乗り込んだ花園では三試合も戦うことができませんでした。試合ごと、合間の練習ごと、宿舎の生活ごと、合間の練習ごとの速度の上昇曲線を描き成長していききました。念願の正月を花園で最高でした。大阪で食べた餅の味は格別でした。淀川の河川敷での初日の出（見えませんが）には武者震いがしました。Aシードの常翔学園戦で負けはしましたが、最後まで果敢にタックルに行き続けた彼らの姿にその後たくさん賞賛と感動の言葉を頂きました。最後にここまで彼らが思う存分花園で暴れることができたのもスタッフ、保護者会、学校関係者、OB会、関西同窓会など多くの方々の支えとご声援

があつてこそだと深く感謝しております。今年はさらに小粒で少ないチームになりますが必ず大阪に帰ってくることを約束して御礼にかえさせて頂きます。ありがとうございました。

女子バレーボール部主将 清 千春
生徒応援団の感想
私は、十二月二十七日に東大阪近鉄花園ラグビー場で行われた試合を見に行きました。会場に入ってから、緊張感ある独特な雰囲気を感じて、驚かされた。開会式でも忘れることができません。開会式では、活気あふれる選手たちが続々と入場してきて、初めの光景に感動したことを覚えておられます。高鍋高校の選手たちが入場してきた時は、応援席全員が拍手で迎えました。皆そろっていても素晴らしい行進でした。

ラグビー部 花園で今年も大暴れ 「克己」
高鍋高校ラグビー部 監督 山本 巧
昨年七連覇を絶たれ絶望の淵からスタートしたこのチームのテーマは「克己」でした。その後も新人戦、高校総体と決勝にすら進めず、先の見えない戦いが続いていた。そんな苦しいときこそ藤兼三三将以下十七人の三年生を中心にチームがしっかりとまり乗り越えてきました。敵に勝つ前にはまず自分の弱さを打ち勝つからだと常に言い続け、ラグビー以外の場面でも自ら苦学することに取り組むようになってきました。地獄の夏合宿、日々の苦しい練習を経て彼らはやってきたことは間違っていないと強い信念を持ってようになった結果が十一月全国大会予選決勝でした。

第八回全国高校ラグビー大会選手・応援に感謝
近畿宮崎県人会常任幹事 スポーツ部会長 阿部 正司
厳寒の候、皆様におかれましてはますます御清栄のことと御慶び申し上げます。この度、母校「高鍋高校」の二年ぶり十八回目の花園出場に対し、「関西高鍋高校同窓会」・「近畿宮崎県人会」他多数の宮崎県出身の方々に応援をいただき感謝申し上げます。

五月発刊を七月に
高鍋高校同窓会 事務局次長 猪股 司
本校は平成二十四年に創立九十周年を迎えますが、この名簿を九十周年記念事業に先駆けて作成することになりました。（平成二十二年以来十年ぶりの名簿発行になります。）当初五月の発行を予定していましたが、四月からスタートする平成二十二年度の項目を掲載するため、発行時期を七月に延期いたしました。関係する方々には大変ご迷惑をおかけいたしますが、より充実した名簿を作成したいと思っております。ご理解のほどを宜しくお願いいたします。現在、旭出版社に依頼し、住所等の確認作業を行っています。会員の方には、昨年住所等確認の葉書が届いたと思いますが、約三万人いらっしゃる会員の中で、まだ一八〇〇名の方が不明者になっています。もし、葉書が届いていない方がいらしたら、事務局にご一報ください。また、会員の方々の近況報告も募集いたしておりますので、併せてご協力をお願いいたします。

学校間交流
生徒会顧問 関屋 一智
昨年十月二十一日〜二十三日山形県立米沢興譲館高校を訪問、本日に貴重な体験をさせて頂いた。学校到着後、玄関前の応援団に驚き、講堂での本校校歌による入場、「天人」のテーマでの退場と全校生徒に熱烈な歓迎を受けた。生徒は、校内見学、部活動体験、夕食会、翌日の史跡巡りや紅花染め等の体験活動でお互いの交流を深めていった。上杉鷹山公や直江兼統について学ぶことができた。今年本校がお世話する番である。最高のおもてなしで有意義なる交流にしたい。

「クリエイティブな」ホッケーを目指して
ホッケー部顧問 鮫島 賢一
昨年に続き、今年も全国高等学校選抜ホッケー大会に出場できることになりました。本県のホッケーは、全国に比べると、レベル的には、一回戦をいかに勝ちぬくか、ぐらいのレベルです。高校生から始めた競技でも、毎日の練習とホッケーに対する情熱とでここまでやれることを証明していると思っております。本校のホッケーは、選手が主体的に練習する環境をいかに与えてやるかを、常に考え、毎日の練習メニューを工夫してやっています。選手の「やる気」を常に発揮させ続けることは大変ですが、逆に慣れに陥らない工夫も必要です。そのためにも、選手一人一人が、どのような課題をもって練習するべきかを、日々問い続けるようにしむけることも必要です。

「OB祭」は、昭和六十一年卒業「岡田祐二実行委員長」の皆さんが担当してくれました。「感謝」をテーマに、特別記念対談が、前ヤクルト・スワローズ監督古田敦也氏、高鍋高校OB・野球評論家池田親興氏（中央公民館）で行われました。今回は、郡内のスポーツ少年団と中学生を対象に野球教室も行われ、野球一色という感じでした。講師は、池田親興氏、若菜嘉晴氏、藤本博史氏の元プロ野球選手の三名でした。子供たちは、分かり易い説

「OB祭」は、昭和六十一年卒業「岡田祐二実行委員長」の皆さんが担当してくれました。「感謝」をテーマに、特別記念対談が、前ヤクルト・スワローズ監督古田敦也氏、高鍋高校OB・野球評論家池田親興氏（中央公民館）で行われました。今回は、郡内のスポーツ少年団と中学生を対象に野球教室も行われ、野球一色という感じでした。講師は、池田親興氏、若菜嘉晴氏、藤本博史氏の元プロ野球選手の三名でした。子供たちは、分かり易い説

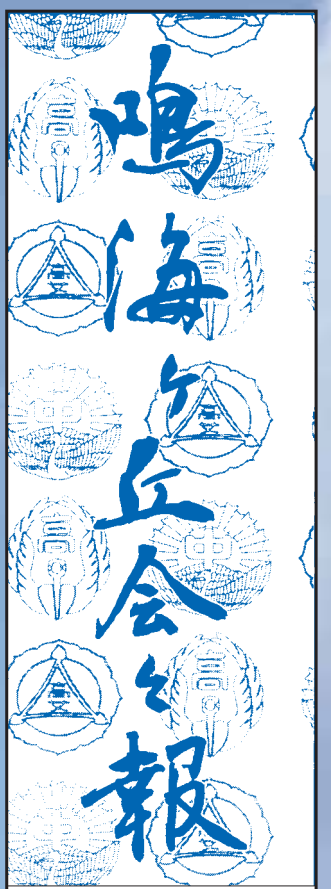
「OB祭」は、昭和六十一年卒業「岡田祐二実行委員長」の皆さんが担当してくれました。「感謝」をテーマに、特別記念対談が、前ヤクルト・スワローズ監督古田敦也氏、高鍋高校OB・野球評論家池田親興氏（中央公民館）で行われました。今回は、郡内のスポーツ少年団と中学生を対象に野球教室も行われ、野球一色という感じでした。講師は、池田親興氏、若菜嘉晴氏、藤本博史氏の元プロ野球選手の三名でした。子供たちは、分かり易い説

「OB祭」は、昭和六十一年卒業「岡田祐二実行委員長」の皆さんが担当してくれました。「感謝」をテーマに、特別記念対談が、前ヤクルト・スワローズ監督古田敦也氏、高鍋高校OB・野球評論家池田親興氏（中央公民館）で行われました。今回は、郡内のスポーツ少年団と中学生を対象に野球教室も行われ、野球一色という感じでした。講師は、池田親興氏、若菜嘉晴氏、藤本博史氏の元プロ野球選手の三名でした。子供たちは、分かり易い説

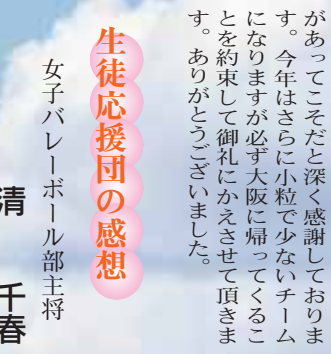
「OB祭」は、昭和六十一年卒業「岡田祐二実行委員長」の皆さんが担当してくれました。「感謝」をテーマに、特別記念対談が、前ヤクルト・スワローズ監督古田敦也氏、高鍋高校OB・野球評論家池田親興氏（中央公民館）で行われました。今回は、郡内のスポーツ少年団と中学生を対象に野球教室も行われ、野球一色という感じでした。講師は、池田親興氏、若菜嘉晴氏、藤本博史氏の元プロ野球選手の三名でした。子供たちは、分かり易い説

「OB祭」は、昭和六十一年卒業「岡田祐二実行委員長」の皆さんが担当してくれました。「感謝」をテーマに、特別記念対談が、前ヤクルト・スワローズ監督古田敦也氏、高鍋高校OB・野球評論家池田親興氏（中央公民館）で行われました。今回は、郡内のスポーツ少年団と中学生を対象に野球教室も行われ、野球一色という感じでした。講師は、池田親興氏、若菜嘉晴氏、藤本博史氏の元プロ野球選手の三名でした。子供たちは、分かり易い説

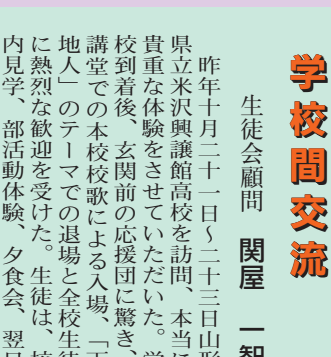
「OB祭」は、昭和六十一年卒業「岡田祐二実行委員長」の皆さんが担当してくれました。「感謝」をテーマに、特別記念対談が、前ヤクルト・スワローズ監督古田敦也氏、高鍋高校OB・野球評論家池田親興氏（中央公民館）で行われました。今回は、郡内のスポーツ少年団と中学生を対象に野球教室も行われ、野球一色という感じでした。講師は、池田親興氏、若菜嘉晴氏、藤本博史氏の元プロ野球選手の三名でした。子供たちは、分かり易い説



選手・応援団



全九州選抜大会にて



米沢駅にて

なんきんはぜ



# 「名古屋支部総会」報告

幹事長 福本秀和

名古屋支部の総会を、十一月十四日(土)お昼十二時より、岐阜駅前前のじゅうろくプラザにて行いました。高鍋より岩岡会長他二名、東京より四名、大阪より四名、福岡より一名と他支部からも多数のご出席をいただきました。ちょうど新型インフルエンザの流行期と重なり欠席者も多かったなか、三十五名程度の集まりとなりました。

初めて名古屋を離れての総会でしたが、岐阜大学の長野宏子先生(S41年卒)のご尽力で、楽しい総会と懇親会の時間を過ごしました。講演会では、「よだきばママの雑記長」のブログ主催者渡辺公恵さん(S47年卒)より、ブログ解説時のエピソードや美術関係者・野球部平原監督の懐かしい想



総会での集合写真

い出話を聞くことができました。また懇親会では、岐阜の鶴匠山下氏が鶴飼いの姿で登場され、鶴や鶴飼いについてのおもしろく楽しい話を聞くことができました。

翌日は希望者を募り、「岐阜城・長良川鶴の庵・犬山城を巡る旅」を企画しました。当日はすばらしい天気で、天守閣からの絶景に魅入られ、また鶴の遊ぶ姿を見ながら鮎ぞうすいに舌鼓をうったりもしました。ご参加の皆様ご苦勞様でした。

# 「福」報

事務局長 原誠子

福岡支部は、昨年十一月二十八日(土)にクリオコート博多にて開催しました。岩岡会長、前田校長、名古屋支部の福本事務局長、今年度のOB祭実行委員の方々にも遠路はるばる参加して頂き、総勢五十二名の出席者のもと和やかに楽しく総会を終えることができました。

児玉支部長による挨拶の後、事務局の報告、会計監査報告など滞りなく進行し閉会しました。その後は懇親会へと限られた時間ではありましたが、老若男女問わず世代を越えた交流で会場は笑い声に包まれておりました。今年は少しでも会員の皆様同士が会話を出来るようにと、毎年恒例のゲームを少し変更してみました。反省点ばかりで次への課題となりました。今回はラグビー



児玉支部長の挨拶

部の花園行きが決定しており、出席OBの方々の後輩達へあたたかいエールを送る姿は印象的でした。

就任して二年目ですので、まだまだ不慣れな点も多く皆様方には大変ご迷惑をおかけしたかと思えます。ただ、盛会のうちに総会が終えられて胸をなでおろすのと同時に今回の反省は是非次へといかせるようにしたいと考えております。

鳴海ヶ丘会が今後とも盛会でありますように祈念することにも、これからもご指導のほど宜しくお願い致します。

ご出席して下さいます皆様併せて心より御礼申し上げます。

# 「地域学習」

地歴・公民科主任 大田原勉

今年も、十一月中旬の三日間、一年生全員を対象とした地歴・公民科主催の地域学習(石井記念友愛社・持田古墳群・歴史資料館・黒木本店など)が実施された。今回で二十八回を数える。県内の多くの学校で地域学習が廃止される中、わが高鍋高校は今年も新たな見学地を加えながら充実した地域学習を実施した。新教育基本法でも、「伝統や文化の尊重」、「祖国や郷土への愛」などを強調しており、時代の要請にマッチした素晴らしい行事である。今回、宮崎日日新聞で「地域の魅力再発見」という見出しで大きく取り上げられた。参加した生徒達の評価も高く、「郷土への関心や理解が深まりましたか」という問いに、約98%の生徒が「ハイ」と答えている。以下に参加生徒のコメントをいくつか列記しておく。

「初めて行くところばかりだったけど、どこも本当に勉強になりました。高鍋の歴史についてちょっとばかり詳しくなれたと思います。」「一番印象に残ったのは、自分の将来にも関係する尊敬すべき石井十次の大偉大さです。福祉分野で頑張っていることと感心するいいきっかけになりました。」「高鍋はとて有名で歴史に名を残すような偉大な人がたくさんいることが分かりました。もっと調べてみたいです。」



黒木本店での見学

# 寄贈

「ありがとうございます」

〈平成二二年度OB祭実行委員より〉

桜の木 十本



〈平成二二年度OB祭実行委員より〉

テント 五張

作品展示用パネル 一枚

プロシエクター 一台

製氷機 一台

ホルン 一本

# 同窓会育英会会長賞表彰者

○普通科

黒木 光 (303) 理

坂田 昂祐 (304) 文

松本 拳 (306) 総合

○生活情報科

河野 早苗 (307)

おめでとうございます。これからもますます頑張ってください。

# 感謝

第89回全国高等学校ラグビーフットボール大会出場御礼

高鍋高校ラグビー部特別後援会事務局

高鍋高校ラグビー部OB会

会長 石田 喜克

母校ラグビー部の二年ぶり十八回目の全国大会出場に際しまして、鳴海ヶ丘会同窓会会員の皆様方、並びにPTAの皆様方の多大なる御支援を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

戦績につきましては、初戦岐阜県代表の岐阜工業高校に高鍋らしさを発揮し完勝。二回戦では、徳島県代表の貞光工業高校に展開ラグビーで完勝しました。元且試合となった三回戦では、因縁のシード校・常翔学園高校(大阪工大高校)との対決となりました。前半リードして折り返しましたが、後半挽回され、惜しくもリベンジ出来ず勝利することはできませんでした。

かし、後輩たちは立派に、そして正々堂々と戦い高鍋魂を発揮して、全国津々浦々におられる同窓会員の皆様、元氣と勇気を発信してくれた事と思います。毎回の募金活動に際しまして、多大なるご協力、ご支援を頂戴いたしまして心より御礼申し上げます。

最後になりましたが、鳴海ヶ丘会同窓会の今後、益々のご繁栄を祈念申し上げます。第89回全国大会出場御礼の言葉とさせていただきます。

〈収支報告〉

去る1月24日に決算報告会を終了致しました。

収入金額190,602,090-支出金額12,254,140

=残金7,347,950

残金額の内、150万円は、高鍋高校部活動等助成金他に充当し、

残金 5,847,950円は、高鍋高校ラグビー部選手強化費として当てること、承認されましたので、ここに報告させていただきます。

# 平成二十二年OB祭

実行委員長 松田 光生



『平成二十二年OB祭』を担当させていただきます。六十二年卒業生を代表して、これまでの進捗状況を報告いたします。

私たちは、昨年の五月より実行委員会を立ち上げ、同窓会や打ち合わせ等を通して親睦を深めて参りました。現在は先輩方のご指導を仰ぎながら組織の充実を図り、準備に取り組んでいるところです。

ご支援いただく地域の皆様や先輩方、学校関係者のご期待に添えるよう今後も力を緩めることなく、県内外の同窓生と一致団結して頑張りたいと思います。今後皆様方の変わりぬご指導ご厚情を宜しくお願い致します。

# 部活動成績など

- 【県高校新人大会】
- 女子ホッケー部 優勝
- ラグビー部 第3位 (15人制の部)
- 空手部
- 女子組手団体 第3位
- 男子組手団体 第2位
- 女子形団体 第3位
- 男子形団体 第3位
- 女子組手個人 第3位 河野沙莉
- 女子形個人 第3位 児玉朋香
- テニス部 女子団体 第2位
- 陸上部
- 女子フィールドの部 第2位 牧野菜美
- 女子走高跳び 第1位 牧野菜美
- 女子走高跳び 第2位 稗島優
- 弓道部
- 男子団体 第1位
- 男子個人 第2位 甲斐由起
- 女子個人 第1位 三輪美里
- 書道部
- 個人 優秀賞 橋口真子
- 個人 奨励賞 河野仁美
- 個人 奨励賞 黒田将吾
- 写真部
- 個人 銅賞 堀田未央
- 個人 銅賞 中村仁美
- 美術部
- 個人 絵画部門準特選全国大会選抜賞 安藤光湖
- 個人 デザイン部門 奨励賞 榎木悠人
- 放送部
- 団体 オーディオピクチャー部門 準優勝
- 吟詠剣詩舞部
- 団体 吟詠剣詩舞部門 金賞
- 文芸部
- 個人 文芸部誌部門 最優秀賞 道下加菜
- 個人 散文部門 第3位 三輪優子
- 個人 短歌部門 第3位 村上昌子
- 個人 詩のポクシング部門 準優勝
- 吹奏楽部
- 団体 優良賞
- 【NIT杯高鍋高等学校新人放送コンテスト】
- 放送部
- 団体 ラジオ番組部門 第1位
- 団体 テレビ番組部門 第2位
- 個人 朗読部門 第4位 田中志之里
- 【全国高総文祭三重大会】
- 吟詠剣詩舞部
- 団体 全国大会選抜賞
- 放送部
- 団体 全国大会選抜賞
- 囲碁
- 団体 全国大会選抜賞
- 文芸部
- 個人 全国大会選抜賞 原田知夏
- 【第57回宮崎県教育書道展】
- 個人 特選 黒木明音
- 個人 特選 河野仁美
- 個人 特選 松山裕美
- 個人 特選 坂本菜摘
- 個人 特選 黒田将吾
- 個人 特選 小松晴香
- 【宮崎県高等学校家庭クラブ研究発表】
- 個人 優秀賞 西田咲恵
- 個人 優秀賞 小嶋千晶
- 個人 佳作 遠矢恵里

# 【第2回県東北地区高等学校弓道大会】

- 弓道部
- 男子団体 第1位
- 男子個人 第2位 甲斐由起
- 女子個人 第1位 三輪美里
- 【県高校総合文化祭】
- 書道部
- 個人 優秀賞 橋口真子
- 個人 奨励賞 河野仁美
- 個人 奨励賞 黒田将吾
- 写真部
- 個人 銅賞 堀田未央
- 個人 銅賞 中村仁美
- 美術部
- 個人 絵画部門準特選全国大会選抜賞 安藤光湖
- 個人 デザイン部門 奨励賞 榎木悠人
- 放送部
- 団体 オーディオピクチャー部門 準優勝
- 吟詠剣詩舞部
- 団体 吟詠剣詩舞部門 金賞
- 文芸部
- 個人 文芸部誌部門 最優秀賞 道下加菜
- 個人 散文部門 第3位 三輪優子
- 個人 短歌部門 第3位 村上昌子
- 個人 詩のポクシング部門 準優勝
- 吹奏楽部
- 団体 優良賞
- 【NIT杯高鍋高等学校新人放送コンテスト】
- 放送部
- 団体 ラジオ番組部門 第1位
- 団体 テレビ番組部門 第2位
- 個人 朗読部門 第4位 田中志之里
- 【全国高総文祭三重大会】
- 吟詠剣詩舞部
- 団体 全国大会選抜賞
- 放送部
- 団体 全国大会選抜賞
- 囲碁
- 団体 全国大会選抜賞
- 文芸部
- 個人 全国大会選抜賞 原田知夏
- 【第57回宮崎県教育書道展】
- 個人 特選 黒木明音
- 個人 特選 河野仁美
- 個人 特選 松山裕美
- 個人 特選 坂本菜摘
- 個人 特選 黒田将吾
- 個人 特選 小松晴香
- 【宮崎県高等学校家庭クラブ研究発表】
- 個人 優秀賞 西田咲恵
- 個人 優秀賞 小嶋千晶
- 個人 佳作 遠矢恵里

# 【税に関する高校生の作文】

- 個人 佳作 中原茜音
- 優秀賞 長町真悠
- 優秀賞 杉田夏実
- 【入賞作品の発表ポスター】
- 金賞 小柳亜衣
- 銅賞 牧野菜美
- 銅賞 岩切麗
- 佳作 河野仁美
- 佳作 黒木明音
- 橋口真子



弓道部 新人大会優勝



放送部 全国大会出場